

雲ヶ畑

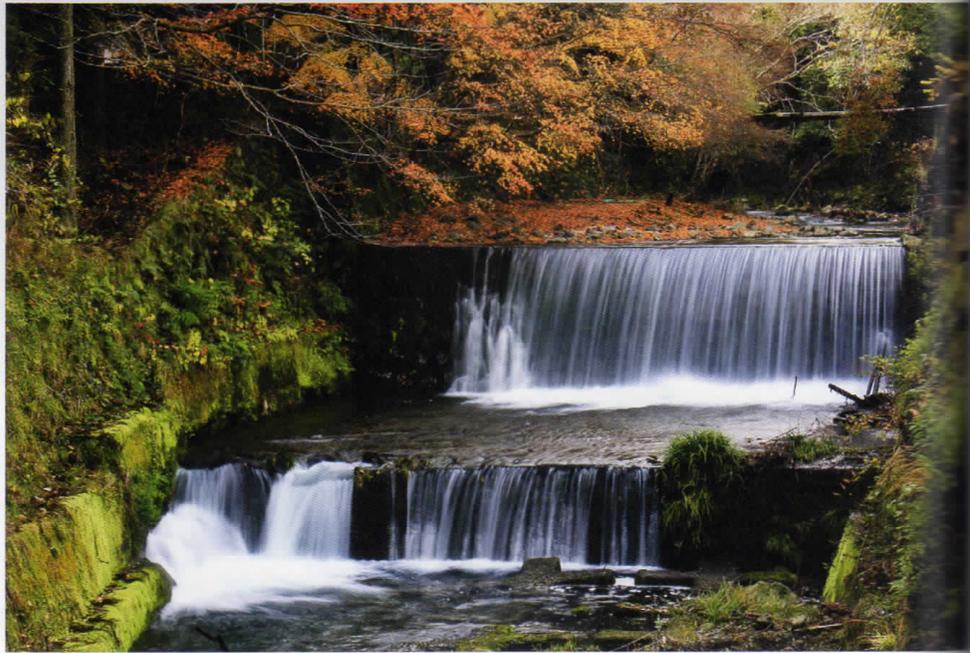
KUMOGAHATA

人口 139
世帯数 59



しあわせの再発見

東は左京区鞍馬、西は小野郷、中川、北は右京区京北、南は西賀茂上賀茂と接し、面積は19.5平方Kmで北区の五分の五を占めています。雲ヶ畑は、源を三つに大別し、つは祖父谷峠より、つは岩屋山より、つは魚谷峠より発し、雲ヶ畑を貫くように東南流し、鴨川の源となります。通称雲ヶ畑街道（京都京北線）が市街地と結ぶ唯一の道路であり北大路駅まで約13キロ、車で約30分の距離に139人59世帯（H27.9現在）が暮らしています。



鴨川源流

脈々と息づく人々の暮らし

この地の人の足跡を振り返ると、改めて歴史の流れを感じます。「役の小角」が650年に草創した岩屋山志明院、延暦寺の里房の一つとして空忍が792年に創建した福蔵院。桓武天皇の平安京造営に携った人達が北山の山ふところに住まいし木材を伐り出したのが780年代から。源平の時代に源義経が住まいした1100年代、今昔物語で「北山の犬が人を妻とする話」の舞台となった1100年代（「もののけ姫」のモチーフ）。

明治以降は宮内庁御猟場として、全国にも知られた1900年代。現在に至るまで1300余年、里に炊煙の絶えることのない人々の暮らしが脈々と息づいていました。そしてこれからもあり続けることが願いです。鴨川の流れを遠く眺める時、その源に続けられている人々の暮らしをちょっぴり思い返していただければ幸いです。区制60年、改めて歴史の重さを感じています。

〔雲ヶ畑自治振興会 会長〕

安井 昭夫



雲ヶ畑の変遷

- | | | | |
|-------|---|---------|---------------------------|
| 昭和58年 | 雲ヶ畑農協と岩倉農協などが合併し京都北農協となり、その後平成8年に京都中央農協となる。 | 平成21年 | 雲ヶ畑中学校が一村一品大作戦全国大会で最優秀賞受賞 |
| 昭和59年 | 自治会館新築 | 平成23年3月 | 雲ヶ畑中学校が休校 |
| 平成1年 | 人口325人、87世帯 | 平成24年3月 | 雲ヶ畑小学校が休校 |
| 平成11年 | 雲ヶ畑林業センター開設 | 平成24年3月 | 京都バス路線廃止 |
| 平成14年 | 雲ヶ畑、北山、京都の3森林組合が合併し京都市森林組合となる。 | 平成24年4月 | もくもく号運行開始(自治会) |
| 平成15年 | 雲ヶ畑簡易水道給水開始 | 平成25年4月 | 携帯電話ドコモ全域通話可能となる。 |
| | | 平成25年9月 | ホームページ開始(自治会) |
| | | 平成27年9月 | 人口139人、59世帯 |



フォトギャラリー

～いまも山や木々と共に生きる心豊かなふるさとがここにあります～

春 Spring

山ユリ・九輪草・シャガ…可憐な花が待っています。岩屋山志明院の京都市天然記念物シャクナゲ林は、見ごたえたっぷりです。



夏 Summer

鴨川の源流、雲ヶ畑川の涼しげなせせらぎが待っています。蛍の輝き、日暮の蝉の鳴き声も魅力的です。クライマックスは「松上げ」。



運動会



もぐもぐ号



巖島神社

鴨川源流、こんなところに、幸せのカタチがありました。

ここは千年の昔、平安京造営のために杣人が移り住んだという村。わたしたちには、捨ててはいけぬものがあります。親から子へ世代を超えて紡がれてきた想いのたすきを、つないでいきたい。先人のため、未来の子どもたちのため、雲ヶ畑を愛する人のために。どこか遠くにいる青い鳥を探し求めるのではなく、もう一度、足元にある幸せを見つめ直し、噛みしめてみることにしました。わたしたちは、

- 雲ヶ畑のルーツである山や木に根差し、山紫水明の自然とともに暮らすを楽しみます
- 家族との時間を大切に、よその子ども叱れるおっちゃん、おばちゃんでありつづけます
- 協同の心を大切に、みんなで絵に描いたようなかわいい山村を目指します
- 惟喬親王ゆかりの地、そこにあふれる歴史口マンや、松上げなどの伝統行事を伝えます

雲ヶ畑の将来ビジョン（平成25年作成）より



杉小立ち



盆おどり



地藏盆



鹿肉コロッケ



Autumn 秋

栗、柿、きのこなど自然の恵みが待っています。鮮やかに色づく山々が、目に飛び込んできます。



Winter 冬

純白の粉雪がまっています。寒さの中、薪のストーブ・たき火…どこからとなく聞こえてくるパチパチという音が心を温かくしてくれます。

Photo gallery

<http://kitayama3.jp/>